

こんなことが決まりました……………2

委員会の審査報告……………4

ここが聞きたい 12人が一般質問……………6

かに 市議会 だより

2010.11.15 第37号



車椅子ツインバスケットボール大会(中学生の部)

平成21年度決算を認定

平成22年第5回可児市議会定例会を9月7日から10月4日までの27日間の会期で開き、平成21年度の決算や平成22年度の補正予算など、28件を審議しました。

平成21年度の一般会計と特別会計の決算を、表のとおり認定しました。

一般会計について、前年度と比較すると、収入で6億5061万4180円（2.4％）の増額、支出で5億5419万5427円（2.1％）の増額となりました。

		収 入	支 出
一般会計		282億 552万1132円	263億9082万9851円
特別会計	国民健康保険事業	84億5401万5530円	83億6754万5322円
	老人保健	5233万1122円	5179万6755円
	後期高齢者医療	7億3674万8758円	7億1632万1818円
	介護保険	40億8559万8783円	40億6684万9529円
	簡易水道事業	2252万9564円	2055万2185円
	飲料水供給事業	521万3126円	481万3178円
	自家用工業用水道事業	1億6359万6830円	1億5019万2585円
	公共下水道事業	38億8576万9227円	37億6248万6172円
	特定環境保全公共下水道事業	2億8854万1148円	2億7854万3692円
	農業集落排水事業	2億5384万6587円	2億4758万7062円
	可児駅東土地地区画整理事業	5億1899万3686円	4億7289万6074円
	5財産区合計	2315万5025円	1718万9629円
総 計		466億9586万 518円	445億4760万3852円

◆◆委員会討論◆◆ 一般会計 反対 正職員の人数を増やし、県からの権限委譲に対応していくべきだ。緊急雇用促進奨励金制度は、具体的な成果が出ていない。地球温暖化対策事業は、きめ細かな配慮を欠いている。市民の反対をよそに、市立保育園を営利化、瀬田幼稚園の廃園をしみ込ませた教育基本計画構想は残念であるので反対。 賛成 経常収支比率は平成20年度と同等であり、第四次行政改革大綱に則った定員以内を維持し、健全財政を維持しているので賛成。 国民健康保険特別会計 反対 抜本的な国民健康保険の財政改革、国の事業に対する支援を求める立場から反対。 老人保健特別会計 反対 制度自体、差別医療としての問題を含んだままであると考えるので反対。	
賛成 制度の精算期間として執行しているもので、市にとって齟齬がある部分ではないので賛成。 後期高齢者医療特別会計 反対 差別的な医療制度であるという本質、また、市が市民の負担をそのままに、多大な内部留保金を保持していることについて反対。 介護保険特別会計 反対 介護利用料の減額免除や、1割負担の見直しなどを求めたいと考えるので反対。 下水道事業特別会計 反対 借換債について、説明責任が尽くされていないので反対。 賛成 借換債については、金利負担をできるだけ減少していくものである。	
補正予算 平成22年度一般会計増額補正10億2700万円を	

第5回定例会

提出された議案と審議結果



今回提出された議案は、決算の認定が18件、予算関係 3 件、条例関係 3 件、人事関係 2 件、その他 1 件で、すべて原案のとおり認定、可決、同意しました。

	件 名		結果		件 名		結果	
認定	1	平成21年度一般会計の決算認定	○	認定	16	平成21年度二野財産区特別会計の決算認定	◎	
	2	平成21年度国民健康保険事業特別会計の決算認定	○		17	平成21年度大森財産区特別会計の決算認定	◎	
	3	平成21年度老人保健特別会計の決算認定	○		18	平成21年度水道事業会計の決算認定	◎	
	4	平成21年度後期高齢者医療特別会計の決算認定	○	議案	46	平成22年度一般会計補正予算(第3号)	◎	
	5	平成21年度介護保険特別会計の決算認定	○		47	平成22年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	◎	
	6	平成21年度簡易水道事業特別会計の決算認定	◎		48	平成22年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	◎	
	7	平成21年度飲料水供給事業特別会計の決算認定	◎		49	基金条例の一部を改正する条例の制定	◎	
	8	平成21年度自家用工業用水道事業特別会計の決算認定	◎		50	老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の制定	◎	
	9	平成21年度公共下水道事業特別会計の決算認定	○		51	下水道条例の一部を改正する条例の制定	○	
	10	平成21年度特定環境保全公共下水道事業特別会計の決算認定	○		52	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定	◎	
	11	平成21年度農業集落排水事業特別会計の決算認定	○		53	固定資産評価委員会委員の選任	◎	
	12	平成21年度可児駅東土地区画整理事業特別会計の決算認定	◎		54	教育委員会委員の任命	◎	
	13	平成21年度土田財産区特別会計の決算認定	◎		55	市道路線の廃止	◎	
	14	平成21年度北姫財産区特別会計の決算認定	◎		発委	3	決算特別委員会の設置	◎
	15	平成21年度平牧財産区特別会計の決算認定	◎			【結果の表示記号】◎全会一致で認定・可決 ○賛成多数で認定・可決		

9月定例会の賛否一覧

※これ以外の案件等は、全会一致で可決しています。

※○は賛成 ●は反対 ※議長(可児慶志)は、採決に加わらない	澤野	佐伯	野呂	天羽	川上	酒井	山田	川合	小村	山根	小川	伊藤	可児	柘植	福田	橋本	亀谷	芦田	渡辺	林	可児
	伸	也	和久	良明	文浩	正司	喜弘	敏己	昌弘	一男	富貴	健二	教和	定	牧子	正志	敏春	光功	重造	則夫	慶志
【認定第1号】平成21年度一般会計の決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【認定第2号】平成21年度国民健康保険事業特別会計の決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【認定第3号】平成21年度老人保健特別会計の決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【認定第4号】平成21年度後期高齢者医療特別会計の決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【認定第5号】平成21年度介護保険特別会計の決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【認定第9号】平成21年度公共下水道事業特別会計の決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【認定第10号】平成21年度特定環境保全公共下水道事業特別会計の決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【認定第11号】平成21年度農業集落排水事業特別会計の決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【議案第51号】下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

不況による税収減や、生活保護費の増額、7・15集中豪雨災害の関連経費を盛り込んだ補正予算を可決しました。これにより平成22年度一般会計の予算額は、総額で27億9200万円になりました。

主な内容(△は減額・千円以下切り捨て)

△収入

○市税 △2億5000万円

△7・15集中豪雨災害関連 3億8679万円

災害復旧・改良等に3億7675万円、被災者生活・住宅再建支援金として504万円などが増額されました。

○住宅リフォーム資金助成金 3000万円

○緊急雇用創出事業 1747万円

○生活保護扶助事業 2億9077万円

委員会報告

総務企画委員会

補正予算や条例の一部改正などを、全会一致で原案可決しました。

コミュニティ助成事業補助金の内容は

委員 コミュニティ助成事業補助金360万円の内訳は。

まちづくり推進課長 財団法人自治総合センター

が宝くじの普及事業の収入を財源として行うもので、一般コミュニティ助成事業として行われ、助成事業に対して応募した団体に対して補助金が出るものである。

内訳としては、可児志野太鼓に250万円、長坂自治会に110万円、それぞれ太鼓の購入費の補助金である。

電算システム更新委託料とは

委員 電算システム更新委託料の中身は。また、なぜこの時期か。

市政情報課長 セキュリ

ティー上、全職員が使っている各自のパソコンに

文書データを保存せず、全庁的に各課ごとの領域に分けたデータを共有サーバー内に保存するというシステムで、セキュリティ上非常に大切なシステムである。

平成18年度に機器を導入し、5年ごとの更新計画だったが、今年度に入り5月から7月にトラブルが5件発生した。

非常に大切な内部情報の共有システムであり、半日でもこのシステムが停止すると職員の事務が滞ってしまう。

事務の停滞は許されず来年度の更新計画を前倒し更新するものである。

可児市地域防災計画の見直しを

その他、7・15集中豪雨災害を受け、可児市地域防災計画の総務企画所管部分の見直しをすべき箇所の提言を行いました。

建設経済委員会

今定例会では、4件の議案が付託され、審査を行いました。

一般会計・農業集落排水事業特別会計の補正予算、市道の廃止については全会一致で、下水道条例の一部を改正する条例の制定については、賛成多数で原案を可決すべきものと決定しました。

平成22年度一般会計補正予算

委員 道路新設改良費の820万円はどこか。

都市計画課長 場所は今渡である。

委員 7・15集中豪雨災害で内水と認識した場所と数は。

建設部長 代表的な場所は3カ所。数は今後の調査により変わる。

農業集落排水事業特別会計補正予算

委員 これまで布設替えは行わないと言ってきたが、今回なぜ行うのか。

下水道課長 河川改修工事の支障のためである。

下水道条例の一部改正

委員 今回の改正理由は。
下水道課長 多数の市民の事務負担の軽減が目的である。

討論

反対 条例があるのにもかかわらず適用しなかったので反対。

賛成 条例違反はないと思うので賛成。

市道路線の廃止

兼山字魚屋を通る市道9040号線の廃止を可決しました。

文教福祉委員会

平成22年度一般会計補正予算

所管部分については、全会一致で可決しました。
委員 生活保護扶助事業に関し大幅増だが、具体的な状況と数字は。

健康福祉部次長 当初予

定よりも外国人世帯を中心に急増し、平成21年度末と比較すると世帯で2・95倍、人員で3・3倍、4月以降はその7・8割が外国人世帯であり、20代、30代、40代が多に多い。

委員 臨時雇用に関して、図書館の事務対応などの業務内容は。

教育部長 桜ヶ丘の図書館にて休日等に対応していなかった部分について開館するため増員した。

介護保険特別会計補正予算

採決の結果、全会一致で原案を可決しました。

老人福祉センターの設置及び管理に関する条例

採決の結果、全会一致で可決しました。

委員 老人福祉センター3館（福寿苑・可児川苑・兼山やすらぎ館）について指定管理に移すというのは、経費を減らすことが一番の目的か。

委員会報告



可茂特別支援学校を視察する委員

委員会終了後、瀬田幼稚園耐震工事完成の様子と、美濃加茂市に建設中の可茂特別支援学校を視察しました。

瀬田幼稚園と可茂特別支援学校を視察

いきいき長寿課長 指定管理が諸課題を解決する一番の方法であり、経費も削減できる。
委員 民間が運営することになるが、利用者の意見や参加者のニーズをどうするのか。
いきいき長寿課長 定期的なモニタリングを行い、そういった意見を指定管理者の方へ伝えて行きたい。

決算特別委員会

今年度より新たに設置

可児市議会では、平成21年まで12月定例会で一般会計、特別会計の決算審査を行い、3月定例会で次年度の予算審査を行ってききました。

平成21年度の反省を平成23年度予算に活かすためには、決算審査を9月定例会で行い、予算編成までの期間を十分にとることが重要ではないかと議会運営委員会で提案され、平成21年から検討を進め、平成22年より9月定例会を決算審査議会とし、決算特別委員会において審査することを決定しました。
今定例会初日に特別委員会を設置し、議会開会中に5回開催、認定第1号から第18号までの決算について、以下の意見を付して認定しました。

◆◆決算特別委員会からの意見◆◆

1.災害対策経費の充実について

7・15集中豪雨災害を教訓に、市地域防災計画の検証を行うこと。特に災害時緊急メールなどを活用した市民への情報提供の充実、職員の防災体制の見直しなどを進め、さまざまな災害に即応できるよう、職員、消防団、自主防災組織、自治会など各種組織を網羅した、実践的な防災体制を構築すること。また、今後の災害を予防する観点で事業の見直しを図り、適正な予算配分を行うこと。

2.市税・国民健康保険税・保育料などの収納率の向上について

長引く景気低迷による企業の減収減益や、雇用情勢の悪化などにより、市税・国民健康保険税・保育料などの徴収環境は今後も困難な状況が続くことが予想されるが、市政運営における貴重な財源確保と負担の公平性の観点から、滞納については、より積極的かつ徹底した徴収業務を進め、不納欠損額の減少、収納率の向上に努めること。

3.可児市水道ビジョンの推進について

次世代への水道料金の負担増を回避するためにも、可児市水道ビジョンに基づき、計画的な施設整備と、水道事業経営の健全維持に努めるこ

と。また、岐阜県営水道に対しても、現在の供給単価を減額するよう、強く働きかけること。

4.地球温暖化対策実行計画の推進について

地球温暖化の影響により発生したと考えられるゲリラ豪雨が、当市に甚大な被害を与えた事態を深く受け止め、地球温暖化対策実行計画を強く推進し、2050年目標の温室効果ガス排出量の半減を実現するため、重要施策に見合う予算配分を行うこと。

5.地域医療を確立する政策立案について

病院勤務医が不足し、医師偏在化が深刻化している現状をふまえ、限りある医療を有効に活用し、市民が恒久的に医療サービスを受けられる安心感を得られるよう、病院と診療所の役割や機能分担を明確にし、連携強化を図るなど、市が地域医療を確立するための政策立案を行うこと。

6.教育環境の充実について

次世代を担う子どもが、安心して学校生活を送ることができるよう、小中学校の備品などの総点検を行い、猛暑などにみられる、最近の地球環境の変化も鑑み、学校教育環境の充実を図ること。

安全都市宣言を 市制30周年に



さかい まさし
酒井 正司

問 災害、青少年教育、犯罪、交通事故、障がい者や高齢者等々全ての安全に関して見直し、市制施行30周年を迎える平成24年に安全都市宣言をする準備を進めては。安全に関して新市長への申し送り。

総務部長 安全都市宣言をするかしないも含めて、記念事業を行う時までに結論を出したい。

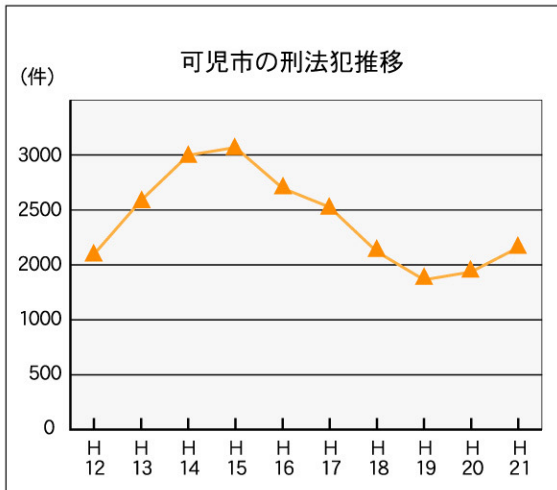
市長 全庁あげての検証を早急にまとめ、市民に安心していただけるよう発信していきたい。

市民の岐阜社会保険病院への期待

問 社保病院が公立病院としての存続が不透明となった。あらゆる立場の人々がこの病院の重要性を再認識し、具体的な行動を起こせるかがカギになる。来年3月に小児科医師が定

年になるが、その入院施設の存続は。広見線活性化と社保病院の連携や、電話で予約バスの利便性向上で盛り上げを図れないか。

健康福祉部長 小児科医師確保に市長が大学へ働き掛けた。今後も要望する。アクセスの向上を目指し、実験を検証してバスの運行日や便数を増やすなどの利便性を高める。



近年増加傾向の刑法犯罪件数

高齢者の見守りネットワークは



とみ まき
富田 牧子

問 所在不明の高齢者問題が大きくクロイズアップされたが、市内高齢者の実態は十分に把握できているか。また、高齢者の見守りネットワークの構築はどこまで進んだか。

健康福祉部長 高齢者の実態把握については、市内3か所の地域包括支援センターをはじめ、民生児

童委員、在宅介護支援センターなどを通じて把握している。見守りについては、地域福祉協力者制度を新たに設け、おおむね30から60世帯に一人を配置できるように自治連合会・自治会等に働きかけ、大森台自治会で始まったところである。

ヘルスアップ事業の拡大を

問 高齢者が元気に暮らしていくためのヘルスアップ事業は体力が増強し、転倒防止にも役立つと聞く。実施会場を増やし、どの地域でもヘルスアップ事業に参加できるようにしてほしい。

健康福祉部長 ヘルスアップ事業は、非常に有効な事業だというデータが出ており、今後とも続けていけるように計画していきたい。



エアロバイクで健康増進
(春里公民館)

ここが聞きたい

豪雨災害時、危機 管理の再構築を



いとう けんじ
伊藤 健二

問 予測できない局地的な集中豪雨により随所で河川が氾濫し、河川整備計画の想定を大きく超える水量が流れて、7月15日に可児川の越流・氾濫が起きた。河川の防災危機管理の盲点を突かれた今回の水害を教訓にして、可児市が行う警戒・予防の情報発信など、住民の目線

にたち、危機管理体制の再構築を進めよ。**建設部長** 県の水害検証によれば、現況流下能力を大きく上回る流量が発生し、越流被害が起きた。再発防止のため河道掘削と築堤工事を行う。

また、雨量と河川水位の危険を自動で知らせるような形のシステムを考えている。市道50号沿い可児川に水位計を個別



翌朝、水害の復旧に取り組む人々 土田地内

軌道敷跡利用を どう考えるか



こむら まさひろ
小村 昌弘

問 兼山地域住民は、連絡所以東の旧名鉄八百津線軌道敷跡利用について、安全な生活環境道路としての整備を求めている。県へ請願書が出されて以来、8年あまりも歳月が過ぎていく。市としての活用方法の考えはあるか。**建設部長** 道づくり委員会等地域の皆さんには協力的に対応いただいているが、県の財政事情から、事業化がままならぬ状況が続いている。長期視点で考えると県道バイパスは必要

と思うが、早期実現が困難であれば、市として活用する方法として、連絡所以東の軌道敷跡利用については、いつまでも放置するのはどうかと思うので、部分拡幅による狭あい部の解消等、市民の利便

性向上に向け、地元の皆様と協議を進め、活用の具体的着手に取り組みたい。**問** トンネル以西についての構想はあるか。

建設部長 7・15集中豪雨災害時の大規模な土砂崩れを考えると、道路としての安全性に課題がある。今後は砂防築堤の機能を備えた小段として、軌道敷跡を残すのも一策と考える。



ようやく事業着手なるか

急増する外国人 若年生活保護世帯



お かわ ふ き
小川 富貴

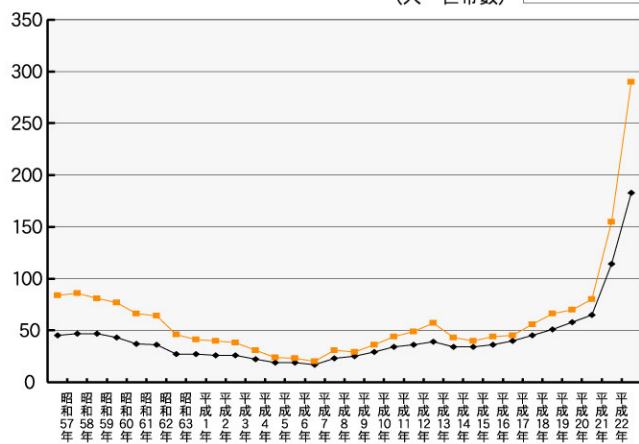
問 生活保護費受給者の半数以上が外国人であり、その3分の1に当たる約100人が10〜40代である。緊急避難としての対応と、自立をしっかりと促す対応が求められている。**健康福祉部長** 月に一度は生活実態や稼働状況の把握を行い、一日でも早い自立に向けての就労支援を重点にしている。今後、生活保護制度の問題点を国に提案と要望を行う。

国内有数の設備を誇る主劇場は

問 市の文化創造センター主劇場は、一地方都市では使い切れないほどの高品質な芸術性の高い付加

価値を有している。市民の誇りとしての活かし方は。
副市長 新日本フィルハーモニー交響楽団等との拠点契約を結び活動してきた。小沢征爾氏のコンサートについては、残念ながら公演中止となったが、復帰されたら必ず実現するよう努力していきたい。

被生活保護世帯及び被保護人員の推移
(人・世帯数)



本市のアレルギー疾患対策は



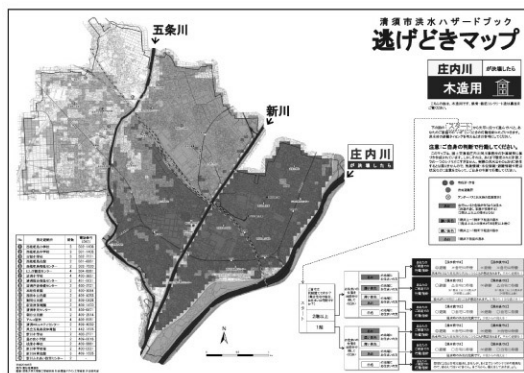
さわ の しん
澤野 伸

問 増え続ける児童のアレルギー疾患に対応しなければならぬ。食物アレルギーは生命にかかわる疾患であり、実態把握はもとより緊急時の対応等体制整備は。**教育部長** 学校生活管理指導表等を活用し、日頃から保護者と担任、養護教諭等との共通理解を図りながら、万一の緊急

時への対応に備えている。

問 災害時におけるアレルギー対応の特殊食品等の対策は。**総務部長** アレルギー対応食を1200あまり備蓄しているが、不足分は他地域との災害時応援協定などにより確保を目指す。地震等にも備え遠隔地とも協定を締結しており、対応する。

求められる防災の対応策は



新しい観点を取り入れた
洪水ハザードマップ

問 地域防災活動や住民個々の災害対応能力の向上を目指す方策は。**総務部長** 自助・共助・公助の連携を強化し、地域防災計画の見直しや、局地的な集中豪雨災害にも対応できるよう、木曾川・可児川以外の中小河川による洪水、内水による浸水等も反映した洪水ハザードマップにし、地域での活用や取り組みを支援していく。

ここが聞きたい

広見地区可児川 左岸破堤について



かわ かみ ひろ
川上 文浩

問 今回の破堤についてどのように考えるか。また3月議会の折に、岐阜県が進めている河川改修計画上での安全は担保されていると答弁しているが、計画の見直しの必要があるのではないか。整備自体や強度に問題は無かったか。

建設部長 今回の洪水は広見乗里付近で



広見地内の破堤した堤防

毎秒670トンとなり、100年確率よりも多くの水が流れており、基本的に持ちこたえられなかった。JR鉄橋の下については、作られた当時のままで改修されていない。早期に改修を目指して県とともに進めて行く。強度の問題があったかどうかは今後県に確認する。

問 河床の整備はどのように行うのか。

建設部長 河床の変

動により、広見橋から下流の部分、湾曲部分に土砂が堆積し河床が上がっている。今後河床掘削し、堆積している部分や今まで土砂を撤去していなかった部分の堆積土砂の除去を県が計画している。

問 職員の現場確認、避難指示が遅れた理由は。

建設部長 決壊情報が対策本部に届くまでに一時間半ほどかかり情報伝達が上手くいかなかったため。

7・15集中豪雨災害について



さ え き てつ や
佐伯 哲也

問 市道50号線アンダーパス冠水場所の可児川上流にある可児市の水位計に、当日災害発生前にバッテリートラブルが確認され、災害時に止まっていたと聞いたが事実か。

総務部長 半年ごとの点検で、災害発生当日、市が依頼する業者が確認したところ、バッテリーの容量不足が確認された。市へ報告に来たところ、すでに夕方市内に災害が発生しており、防災安全課の職員に伝えることが

できず帰社した。

問 豪雨時に水害が発生する危険性は当然分かっていたと思うが、水位計に異常があったのに報告しなかった、また報告を受けなかった原因は何か。

何のための水位計か。ましてや豪雨時に何が起るかは当

然認識ができる。報告する側も受ける側も認識があまりにも甘すぎる。人の命をもっと真剣に考えていただきたい。

総務部長 担当部局は慌しく動いており、その場にも居合わせなかったため、業者の担当者判断で報告をしなかった。



国際航業㈱提供

このような災害は二度と起してはならない

これからの連絡所の役割について



かわい けんじ
川合 敏己

問 多様化する地域課題を解決し、地域力を発揮して協働のまちづくりを進めるためには、地域に一番近い行政機関である連絡所が中心となつて推進すべきではないか。

企画部長 今後、地域の主体的な活動への支援と、行政との協働のテールとなる舞台は連絡所になると考えている。市役所の出先機関としての業務のほかに、地域の協働のまちづくりの拠点として、

さまざまな住民主体のまちづくり活動への支援と、地域の課題を連携・協力して解決していく協働のまちづくり事業の事務局のような役割を担うことになり、これまでの連絡所から地域センターと呼ぶべき機能にレベルアップすることが必要となる。



機能拡充したい可児市の連絡所

問 第四次総合計画がスタートする平成23年度から実現はできないか。

企画部長 早く取り掛かりたいが、この見直しはこれからの研究課題である。庁内の職員数やシステムを変えるなど、多くの課題があるため、今後よく検討していきたい。

WEB図書館で利便性の向上を



やま だ ひろあき
山田 喜弘

問 WEB図書館は、電子書籍をインターネットを利用し24時間365日いつでも貸し出し・返却できる。また、音声や動画再生も可能。来館が困難な障がい者や多忙なビジネスマン等が気軽に書籍を来館せずに借りられる。その他にも様々なメリットがある。本市でもWEB図書館を

創設してはどうか。

教育部長 ICT技術の進展でWEB図書館開設の動きのある中、課題として著作権の問題があり、閲覧できる数が限られている。具体的な取り組み計画を持っていないが、新たな市民サービスとして継続して検討する。

建設部長 この地域でも集中豪雨が多発している。異常な豪雨に備え万全の対策と対応をしていく。

総務部長 各自自治会がハザードマップを作成してもらいたい。そのため地域に向き協力していきたい。

豪雨災害での今後の防災体制は

問 7・15集中豪雨災害を踏まえ、治水整備や情報伝達体制、



利便性の向上を求めたい可児市立図書館

ここが聞きたい

市道50号線 アンダーパス災害



やま ね かず お
山根 一男

問 7・15集中豪雨災害により市道50号線名鉄線アンダーパスは冠水し、多くの人や車が押し流された。現在も行方不明者2名は見つかっていない。この事故をどうとらえるのか。

市長 この件については、検討委員会等でも検証が続いている。いずれにしても行方不明の両家族に

市内中学校におけるいじめ事件

対しては、市として誠意ある対応をしていきたい。



市道50号線アンダーパス災害直後の様子

教育長 市内の中学

問 市内中学校において耳を疑いたくなるようないじめ事件が発生し、全国に報道された。なぜ、このようないじめがもつと初期段階で察知されなかったのか。

校において、あつてはならない事案が発生し、多くの方にご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫びする。

問 市役所では、子どもたちのわづかなサインも見逃さないよう指導する。これまで以上に地域や家庭との連携が大切であると考え

教育部長 公道を利用するには、警察署との十分な協議の上で、了解を得て進める必要がある。行政が何をしてくれるのかが当初にあるのではなく、市民の自主的な協力体制が得られるような開催手法が良い。その上で、実現に向けたコーデ



あ も う よ し あ き
天羽 良明

可児市に元気を 取り戻そう

イネート役としての協力は惜しまない所存でいる。

市長 市内ばかりでなく、市外から相当の参加があり、かなり経済効果もあるとの話を聞いている。各市で行われるマラソンがどのようになり、ち上がってきたのか、

どういう運営のあり方であるか等を研究課題として、詳細に調べさせていただいた上で、検討していくことにしたらどうかと思う。



指宿市は人口4万人で2万人のランナー

地域のかがやき 地域の笑顔

久々利 自然体験学習会



森林に親しみ大切にする心を学ぶ

川合 高齢者のつどい



フォークダンスを楽しむ

平牧 グラウンドゴルフ大会



晴天の下、楽しくプレー

今渡 防災訓練



外国籍の皆さんも、37人参加

下恵土 下恵土サロンひなた



やさしいぬり絵に挑戦

編集後記

今年度より新たに決算特別委員会が設置されました。十分な時間をかけて前年度決算の審査を行い、議会として次年度予算への要望を取りまとめ、提案していくことになりました。これまで3年間にわたり取り組んできた議会改革の成果です。

今期の市議会議員の任期も残すところあと9カ月となりました。これまでの3年間余の成果をさらに進め、残された課題の総仕上げに、22名全員が一丸となっていきたいと思います。

(富田牧子)

第6回定例会のお知らせ

11月30日	議案提案説明
12月7日～9日	一般質問・質疑
13日	総務企画委員会
14日	建設経済委員会
15日	文教福祉委員会
22日	最終日
(委員長報告・討論・採決)	

会議は午前9時開会の予定です。
日程は、都合により変更となる場合もあります。